

2023.3.23

100号

栗石町社会福祉協議会

しずくいし

社協だより

おかげさまで創刊

1



anniversary issue

号

TOPIC

特集

『社協だより100号記念』

創刊から32年 社協事業を振り返り、
地域福祉の歩みをご紹介

- ◆ 栗石町社会福祉大会
- ◆ 保育園de何してる？
- ◆ ふくしPickup NEWS

創刊100号 記念 特集

『社協だより100号記念』 創刊から32年 社協事業を振り返り、 地域福祉の歩みをご紹介



社協だより62号

2010

- ・町立西山保育所の民営化にともない、運営が当会に移管。「西山保育園」として、オープン。
- ・“いわておげんき見守りシステム”の運用がスタート。



社協だより72号

2013

- ・8月9日大雨洪水災害により、町内でも甚大な被害が発生。
- ・民生委員児童委員協議会の事務局が雫石町から移管。
- ・ひとり親家庭子育て応援事業がスタート。



社協だより84号

2017

- ・“福祉教育出前講座”がスタート。
- ・生活支援体制整備事業の始動に伴い、生活支援コーディネーターを配置。



社協だより92号

2020

- ・小規模保育園にじいろ保育園がオープン。
- ・コロナ禍に対応し、マスクリレープロジェクトや見守りプロジェクトを始めとした“しずくいつながるBIGプロジェクト”として、6つの新規事業を展開。



社協だより97号

2022

前年からスタートした『救急医療情報キット配布事業』と『生活支援サービス「ちょい助」』の2つの事業が本格的に始動。

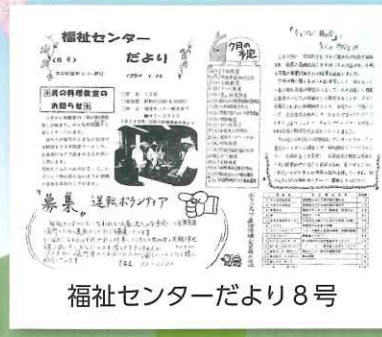
社協だよりのこれから

現在、社協だよりでは「思いが繋がる、地域福祉情報誌」をテーマに掲げ、福祉に関心のない方でも「読んでみようかな」と手に取ってもらえるよう、写真やデザインを工夫しています。また、読んでも内容が難しければ伝わらないので、なるべく分かりやすい言葉で表現するなど、しっかりと伝わる広報紙の制作を心がけていきます。

【制作担当者】



ともしび5号



福祉センターだより8号



福祉だより14号

町総合福祉センターが完成した1990年。当会の会報として、「ともしび」1号が創刊。当時は手書きの情報誌でした。その後、“福祉センターだより”、“福祉だより”と名称を変え、今の「社協だより」となりました。

1997

- ・17号より、「社協だより」として、現在に近いスタイルに。
- ・同年10月、『雫石町福祉作業所（現在のかし和の郷）』が、福祉センター内の一室でオープン。
- ・中高生による雪かきの巡回ボランティア活動が始まる。（現在の雪んこ見守り隊）



社協だより17号

2000



社協だより28号

- ・おでかけ援助サービス（ボランティアによる福祉車両で移動困難な方を移送する事業）が始まる。
- ・同年には介護保険制度も開始され、社協でもケアマネジャー、ホームヘルパー事業所を開所。

2003

- この年、広報誌をリニューアル。
- ・町内に2カ所“放課後児童クラブ”が誕生。（当時の下長山小学校と安庭小学校）
- ・子育てサロンがスタート。



社協だより41号

2007

- この表紙をきっかけに、子育て支援ボランティアの周知が深まり、利用者が急増。
- ・地域福祉座談会を町内10カ所で開催。
- ・ふれあいサロンの開設地域が増える。



社協だより53号

Future

記念講演

『平時における防災・減災に向けた ネットワークづくり ～最後は「心」～』

▶ “避難する”を考える

ただ単に、“避難する”ではなく、災害の種類や発生状況に合わせ、どう行動すれば安全に避難できるのか、自分たちで考えておかなければいけません。

また、避難所の“設置”は自治体ができることになっていますが、その“運営”は避難した地域住民自身が担うことになっています。つまり、避難した後、避難生活（避難所）のルール・環境をどのようにしていくか考えるのは自分たち自身なんです。

▶ 共助が機能する地域づくり

自然災害はいつも“想定外”なモノです。発災時、防災組織にとって主要な人（自治会長や役員など）が即応できるとは限りません。誰もが防災の担い手になる必要があります。

どんなに良い仕組みがあっても、そこに魂がなくては、本来の機能は発揮されません。発災直後は、地域の住民同士の助け合いが求められるため、平時からの住民同士の関係づくり・意識の醸成等、お互いに声を掛け合って考えていく必要があります。

オフィス園崎 代表 園崎秀治氏



パネルディスカッション『雫石町大雨洪水災害から10年目を迎えて ～発災当時・現在の取り組み・未来へ向けたメッセージ～』



土橋自治会顧問
平子田 由則氏

被災後に始まったお互いさま情報交換会、自主防災会の訓練に毎年取り組んでいる。自助・共助の取り組みを大切にしていかなければならないと思っている。

● 園崎 POINT ●

災害時、組織を理解している人が不在となる状況は珍しいことではない。お互いに共有し、災害時に共助の機能が果たされるように心がけてはならない。



雫石町消防団第2分団第1部
団員 高橋 秀之氏

消防団へのイメージアップと次世代の団員育成のためにも、ポンプ操法を児童に見せることを御所小学校で提案し、2年続けて防災学習として実施することができた。

● 園崎 POINT ●

関係者だけで完結するのではなく、広くかかわれるような体制をつくるのが大切。そのためには、自分たちの活動を知ってもらう機会をつくる必要がある。



雫石町赤十字奉仕団委員長
中川 真理子氏

H25の水害時は、被災した団員もいたため、活動できる団員だけで、活動を行った。自然災害はいつ発生するかわからない。たくさんの人の協力を得て、みんなで乗り越えることが必要と考えている。

● 園崎 POINT ●

雫石町の広い面積で、均等に被災することは少ない。被災していない人の力が、被災者のもとへ届けられることで、復興への大きな力になる。



第46回 雫石町社会福祉大会 開催

2/19

雫石町社会福祉大会長表彰 個人2名・ボランティア9団体が受賞

2月19日(日)、雫石町社会福祉大会を野菊ホールで開催。個人2名の方々をはじめ、ボランティア活動団体9団体が受賞されたほか、オフィス園崎 代表 園崎秀治さんによる記念講演が行われました。

在宅介護功労者

10年の長きにわたり献身的な介護を行い、在宅介護の大切さを身をもって示している功績。



松原 一民 様
五区行政区

民生委員 ・児童委員

12年の長きにわたり、民生委員児童委員として、住民の福祉増進に努めた功績。



赤坂 昌雄 様
上町3担当区

ボランティア活動団体(者) 9団体

地域福祉の増進に努めた功績

各団体を代表して式典に参加された皆さん

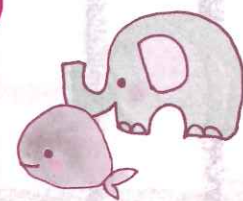


団体名	事 績
手話サークル滴	28年の長きにわたり手話活動を通じて、聴覚障がいへの理解を深めるとともに、地域福祉の増進に努めた功績。
雫石町スノーバスターズ	28年の長きにわたり除雪活動を通じて高齢者等の冬季間の安全確認を行い、地域福祉の増進に努めた功績。
雫石町福祉有償運送運転ボランティアサポーター	27年の長きにわたり高齢者・障がい者等の交通手段を担い、地域福祉の増進に努めた功績。
昼食サービスボランティア	26年の長きにわたり高齢者等に対し食事の提供並びに見守りを行い、地域福祉の増進に努めた功績。
ふれあいサロン茶話サロン	18年の長きにわたり、地域住民の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。
ふれあいサロンコスモス	18年の長きにわたり、地域住民の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。
ふれあいサロンひまわり	17年の長きにわたり、地域住民の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。
ふれあいサロン片子沢	17年の長きにわたり、地域住民の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。
ふれあいサロン五区	17年の長きにわたり、地域住民の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。



おらが地域の
ちびっ子たち

保育園 de 何してる？



子どもは未来のチカラ、地域のタカラ。
子どもたちは家庭だけでなく、地域や保育園などでのかかわりを通じて、はぐくまれています。
このコーナーでは、「保育園で子どもたちが どんなことをしているのか」お伝えします♪

にじいろ保育園



時々、御明神公民館のホールをお借りしています。広々としたホールで走ったり、フラフープやボールで遊び、たくさん体を動かしています。開放感を感じながら意欲的に体を動かして楽しんでいる子どもたちです!!

お問合せ先
TEL: 681-8282



ボール持って
おでかけ月

3人で仲良く、電車ごっこ月
どこまで行こうかな？



かけっこするよ！
いちについて～、
よ～い、ドン！



ブッブー！
お気に入りの箱バスで
出発進行！



西山保育園

雪遊びだ～いすき！



毎年雪が積もる頃になると、西山グラウンドにて西山雪まつりを開催しています。

雪上リレーでは、お友だちにバトンをつなげようと深雪の上を力いっぱい駆け抜けました。雪の中に隠された宝探しのお菓子を見つけ、にっこり笑顔がこぼれる子どもたちでした。

お問合せ先 TEL: 693-3322



ヨーヨー
リレー



雪上を走るのは大変…



おやつみつけたっ♡

100,000 円	旭管工(株)	(株)ダイトク	(株)アオバヤダスキン本宮支店
(株)丸恵電業	新日本設計(株)	(株)渡辺設計事務所	雫石タクシー(有)
50,000 円	(株)ハムシステム庄内	新岩手農業協同組合雫石支所	伊藤建設(株)
青湖苑カルチャー発表会	(有)アース	一般社団法人雫石シルバー人材センター	(有)佐々木章設計事務所
30,000 円	(株)菊池工業	(株)岩手ナブコ	(有)瀧沢重機建設
雫石医科歯科会	(株)篠村	(株)エヌティーコンサルタント	(有)なかゆ食品
鶯宿温泉病院	盛岡いすゞモーター(株)	(有)環境計画工房	ホテル森の風蔭宿
NPO 法人しずくいし	株式会社 イクスル	富士建設工業(株)	(株)ジャスト・コンサルタント
丹内建設(株)	岩手大崎電気(株)	(株)しずくいし	(有)角館稲葉設計事務所
20,000 円	岩井建設(株)	小岩井乳業(株)小岩井工場	岡田電気(株)
在京雫石町友会	(株)コスモ通信システム	小岩井農牧(株)小岩井農場	2,000 円
有限会社 JOUNDA MOTORS	休暇村岩手網張温泉	松ぼっくり	(株)富士電業社
12,276 円	(株)ナカノアイシステム	株式会社福祉サポート北東北	オリジナル設計(株)岩手営業所
雫石町ゲートボール協会	(株)振興設備設計	(有)雫石東洋電業	(株)メグミ
10,000 円	明北産業(株)	岩館電気(株)	(株)トーセイメディカル
(株)中村建設	(株)吉田測量設計	希望ヶ丘学園	デイサービスセンターにことびあ
篠村泌尿器科クリニック	菱和建設(株)	こども発達支援センターのぞみ	(株)武田菱設計
たにふじ歯科医院	昭栄建設(株)	(有)カワハラ事務機滝沢営業所	(株)大永
(株)ビルド遠藤	(株)寿広	(有)丸水工業	リコージャパン(株)
沼田歯科クリニック	9,000 円	(有)オプト電通	仙建工業(株)
(株)土木技研	雫石町婦人会役員一同	(有)吉田塗装工業	(株)三伸鋼機
(株)グリーン・ベネフィット	6,000 円	(株)瀧田屋	奥羽工業(株)
(有)なかまご	盛岡セイコー工業(株)	(株)アクール工業	
(株)東北工商	5,000 円	3,000 円	
北光コンサル(株)	(有)西部建設工業	岩手建工(株)	

報告

R4 歳末たすけあい 年度 地域福祉活動募金

総額

3,349,762円

募金実績

(内 訳)	
行政区戸別募金【4,148世帯】	2,093,932円
法人・大口（企業）募金【81件】	802,276円
学校募金【御所小学校】	6,272円
歳末助け合いチャリティショー収益金	438,174円
その他【町内設置募金】	9,108円

募金使途

(内 訳)	
●歳末助け合い激励金配分金	1,369,000円
●地域福祉活動費	1,980,762円

皆様よりお寄せいただいた募金は、町内の生活に困っている方への激励金として、また令和5年度、雫石町で必要とされる地域福祉事業に全額活用させていただきます。

皆様の心からの善意に、深く感謝申し上げます。

令和4年度歳末助け合い募金配分額

対象者項目	町内全域	金額	配分額
在宅重度障害（児）者	65人	195,000円	@3,000
認知症老人介護世帯	4世帯	12,000円	@3,000
生活困窮世帯	144人 85世帯	975,000円	@5,000×人数 +3,000×世帯数
生活困窮相談世帯	24人 9世帯	147,000円	@5,000×人数 +3,000×世帯数
雫石町身体障害者福祉協会		10,000円	
精神障がい者団体		10,000円	
福祉作業所 かし和の郷		10,000円	
社会福祉法人 結和会		10,000円	
計		1,369,000円	

行政区募金で二千元以上の寄付者（敬称略・順不同）

100,000 円	・佐々木利之	・茅橋 聰	・米田 武美	・川口 英敏
・太田 司	・上野 泰輝	・深谷 詩子	・徳田 勝美	・下田 裕
50,000 円	・晴山 定雄	・高橋 勝三	・長栄館	・高橋 和春
・廣養寺 平井 正道	・松尾 勝男	・横手 十代	・松本 洋一	・平野 幸充
30,000 円	・目時 哲英	・晴山 政治	・村上あさよ	・沼田 昭
・臨済寺 目時 大堂	・匿名	・徳田 一士	・岩館與四郎	・沼田 雪雄
・永昌寺 藤本 達也	3,000 円	・田中 秀雄	・古館謙太郎	・雫石ダンススタジオ
10,000 円	・中居 次男	・山本 勝	・村上 結清	・上野 眞
・佐々木繁光	・若松 衛	・木村 直文	・佐藤 兵二	・峰川 英利
・土橋 幸男	・中村 敬二	・大村 悦正	・中村 稔	・武田 長榮
・雫石歯科医院 川田 慶勲	・栃内 巖	・藤村 正彦	・松本 清	・向井 繁
・横手 正子	・晴山 勝信	・晴山 富雄	・内村 勝也	・五日市 泰
・土樋 博志	・細川 保夫	・大和 潔	・高田 克巳	・中村 孝二
・杉村総業代表 杉村 和也	・千葉 茂	・関 紀美子	・櫻田 章夫	・澤藤紀久子
・羽上トシ子	・西村 義則	・中川真理子	・袖林 孝	・上野 寛二
・堂前 敏子	・深澤 多門	・根澤 早苗	・藤原 恒子	・高橋 茂樹
9,026 円	・平子田由則	・高橋 孝司	・中島 勝記	・米澤 和政
・太田 正男	・山崎 正美	・米澤 稔彦	・諏訪 泰幸	・西野 利行
5,000 円	・小林 タミ	・匿名（2名）	・長坂商店 長坂 一徳	・吉井千枝子
・徳田 行男	・細川設計 細川 行輝	2,703 円	・米澤ヨシ子	・千葉 幸作
・細川 アイ	・タナカ塗装 田中 勝利	・原 誠	・神 拓志	・高橋
・四ツ家正榮	・下川原健治	2,000 円	・平野 一恵	・匿名（2名）

じぶんの町を 良くするしくみ。赤い羽根共同募金



令和4年度赤い羽根共同募金追加のご寄付

社協だより第99号にて、ご報告いたしました標記募金運動について、追加のご協力がありましたので、お知らせいたします。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

追加募金内訳	
・七ツ森小学校児童会	10,475円
・雫石中学校生徒会	15,150円
・雫石中学校家庭部	15,000円
・雫石高等学校	1,244円
・赤い羽根自動販売機	856円



「七ツ森小学校児童会」の皆さん

赤い羽根自動販売機

設置サポーターを募集!!

「赤い羽根自動販売機」とは、飲み物を購入すると、その売上の一部が飲料メーカー等から赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機のことです。雫石町共同募金委員会では、赤い羽根自販機を設置して下さる企業や団体、個人の方を募集しています。

自販機 置いたらお得♪

設置費用は無料。設置者さまへ販売手数料が支払われます。負担は月々の電気代と設置場所だけ。

地域社会 みんなが笑顔に♪

寄付金は、設置されている地域の福祉活動や災害時のボランティア活動等に役立てられます。



詳しくはコチラをご覧ください



知っ得!! なっ得!!

お知らせ information



在宅昼食サービス 利用料を改定

在宅昼食サービスは、有償ボランティアによる、見守りを兼ねたお弁当の配達サービスです。

これまで、食を通じ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、価格維持に努めてまいりました。しかし、原材料の価格高騰が続いていることから、令和5年4月1日から利用料を改定する運びとなりました。

今後も安心安全なサービス提供に努めてまいりますので、何卒ご理解いただきますよう、お願いします。

これまで
1食 **400円**

令和5年4月1日～
1食 **500円**



お弁当を手渡す昼食サービスボランティア
利用者の方からは、『毎日のメニューが楽しみだし、いつも明るく声をかけてもらい、元気がでます』などのお声をいただいています。



「もったいない」を減らしたら「いただきます」が増えました

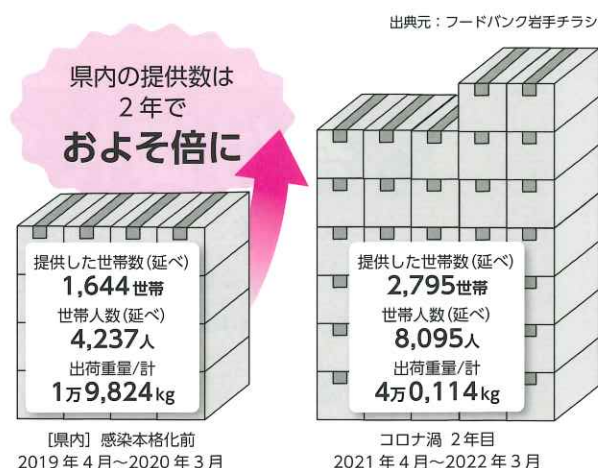
昨年7月～今年2月の期間中、町総合福祉センターおよび栗石町役場のフードポストへ、計 **498.12*** もの食料品の寄付がありました。ご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。

皆さまからご寄付頂いた食料品は、「NPO 法人フードバンク岩手」さまを通じて、生活にお困りの方へ、無償で届けられます。

町内では、当センターのほか、栗石町役場、まちおこしセンターしずく×CANの計3カ所にフードポストが設置されております。ぜひご協力ください。

チェックポイント

- ☐ 賞味期限まで3か月以上ある
- ☐ 常温で保存してOK
- ☐ 未開封(個包装のバラは除外)



『NPO 法人フードバンク岩手』様の取り組みについて詳しくはコチラをご覧ください



ご存知ですか？ 生活支援サービス『ちょい助』



どんなサービスなの？

日常生活でのちょっとした困りごとを抱えている方を、地域の支え合いで解決していこう！という事業です。

具体的には

- ・ゴミ出し
- ・買い物代行 & 補助
- ・話し相手(見守り)などのサービスを地域住民のボランティア(生活支援サポーター)が、有償でお手伝いをしています。



どんな人が利用できるの？

町内にお住まいで、例えば…

- ・お一人や夫婦のみで暮らす高齢の方
- ・骨折などのケガをされている方
- ・妊娠婦さんや子育て世代の方 など



いつ・どのくらい利用できるの？

7時～19時
※年末年始(12月29日～1月3日)休み
1週間に2回の利用が上限



利用者さんのために、より良い状態の商品を購入しようと、ナスを吟味しているサポーターさん

サービスの提供



お金はどのくらいかかるの？

利用料 300円/1回30分



お申し込み

利用には事前の登録が必要です。まずは、当会へご連絡ください。

▶▶ 問い合わせ先 ☎ 019-692-2230
栗石町総合福祉センター内



お話し好きな方とは時間を忘れて毎回大盛り上がり！

「ちょい助」について詳しくは
コチラをご覧ください



クラブ男厨会

おすすめレシピ紹介

vol.
14クラブ男厨会
大村会長現在は感染症対策のため、
活動をお休み中ですが、
再開できる日が
楽しみです♪

春キャベツのお焼き

15 min 調理時間 15 分



材料 (4人分)

上新粉……………40g 小麦粉……………40g
 塩……………少々 たまご……………3個
 春キャベツ……………250g
 干しエビ……………小さじ4
 サラダ油……………大さじ1

タレA { 赤唐辛子……………1/2本
 しょうゆ……………大さじ1
 砂糖……………小さじ1
 ごま油……………小さじ1

作り方

- ①ボウルに上新粉・小麦粉・塩、たまごを加え、よく混ぜて生地を作る。
- ②キャベツは1cm角に切り、生地と混ぜる。
- ③タレ(A)を合わせる。
- ④フライパンにサラダ油大さじ1を熱し、生地をスプーンで山盛り1杯ずつ落とす。
- ⑤生地の上に干しエビをのせ、中火で焼く。
- ⑥両面がこんがり焼けたら、器に盛りつけ、お好みでタレをかけ、出来上がり♪

寄付御礼

やさしい“まごころ”ありがとう

令和4年11月～令和5年2月の期間にお
寄せいただいた寄付についてお知らせします。

- 中川愛子社中
代表 中川 愛子 様 100,000円
- 有限会社 JOUNDA MORTORS 様
10,000円

1月8日(日)、「中川愛子社中 新春民謡発表会」の
収益金を手渡す中川愛子さん(写真右)

発行者／問い合わせ先

社会福祉法人

栗石町社会福祉協議会

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140

最新の情報は
SNSやHPを
ご覧くださいTwitter
@shizukuishivc

この広報誌は、お寄せいただいた社協会費の一部をあて発行しています。